資料１－３

第４回沖縄県観光振興戦略会議　事前の意見聴取

意見NO.	資料番号 頁数	項目	委員意見（事前聴取）	対応	事務局回答
【協議事項】効果検証について					
1	資料３	効果検証について（スキーム）	①OCVB観光戦略協議会から県に対し、個別事業の効果検証の指標（KPI）設定について提言したいと考えているが、14ページのスキームにどのように反映できるか（されているか）。	回答	OCVB観光戦略協議会をはじめとする関係団体の皆様からの個別事業のKPI設定に関する提言につきましては、資料14ページの運用スキームにおいて、以下の3つのプロセスを通じて反映できる仕組みとして検討しております。 １．事業計画の策定・選定段階（スキーム右上） 県への要望ルートを通じ、事業内容と併せて効果的なKPIの設定や考え方を事前に提言いただき、計画素案や検証指標の検討に反映する。 ２．戦略会議における検討・意見聴取段階（スキーム②～④） 県が提示した事業計画案に対し、設定されたKPIや検証手法の妥当性について、専門的見地から直接ご意見をいただき反映する。 ３．事業実施後の効果検証・改善段階（スキーム⑩～⑫） 毎年度の効果検証の場において、KPIの進捗確認に加え、指標自体の見直しや改善についてご提言いただき、翌年度の事業改善や次期のKPI設定へフィードバックしていく。 このように、計画策定、審議、事後検証に至る各段階で、協議会からの提言を適切に反映していくことを検討してまいります。

意見NO.	資料番号 頁数	項目	**委員意見（事前聴取）**	対応	**事務局回答**
2	資料３	効果検証について（活動指標）	**②資料3を拝見すると、単年での効果検証は各事業単年で設定する「活動指標」でのみ効果検証を図ると捉えられるが、もしそうであれば、「活動指標」に加えて「成果目標（KPI）」についても、進捗状況を確認できるものは効果検証に加えるべきではないか。**	回答	**単年での効果検証における成果目標（KPI）の扱いにつきましては、宿泊税充当事業の成果目標は中長期的なものが多く、単年度では達成状況や効果の発現が見えにくい事業が大半であることから、本資料案では、成果指標は基本的に制度更新時に評価し、毎年度は活動指標を中心に進捗を確認する整理としております。 一方で、事業によっては単年でも進捗状況や中間実績を把握可能なものがあるとのご意見につきましては、重要な視点として受け止めております。単年で進捗確認が可能な成果目標をどのように取り扱うかにつきましては、個票の項目設計や基本計画に対する評価手法の検討とあわせ、引き続き検討・協議を進めてまいりたいと考えております。**

意見NO.	資料番号 頁数	項目	**委員意見（事前聴取）**	対応	**事務局回答**
3	資料３	効果検証について（アンケート）	**③外部への検証方法として「認知度アンケート」と記載されているが、それに加えて、「実施事業に対する評価アンケート」も加えるべきではないか。**	回答	**実施事業に対する評価アンケートの追加につきましては、事業効果を客観的に把握し使途への納得感を高める上で有意義なご提案である一方、調査にかかる費用対効果や事業特性に応じた評価の難しさといった課題もございます。　大阪府の事例のように、実際に事業を利用した観光客等の満足度を把握することは事業改善や効果の「見える化」に有効である反面、危機管理体制の強化や基盤整備など利用者が直接体感しにくい事業も多く、全事業へ一律に調査を導入することは多額の費用や事務負担を伴います。　そのため、すべての事業に一律で課すのではなく、効果把握が有効な事業の個票指標にアンケートを組み込む手法や、全体の認知度調査の中で施策の実感度を測る設問を設ける手法などを選択肢として整理し、実効性とコストのバランスを考慮した現実的な検証方法を引き続き検討・協議を進めてまいりたいと考えております。**